

2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月6日
東

上場会社名 日本農業株式会社 上場取引所
コード番号 4997 URL <https://www.nichino.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩田 浩幸
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部総務・法務部長 (氏名) 吉岡 正樹 (TEL) 0570-09-1177
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	31,087	14.6	4,751	34.1	5,229	52.7	3,729	37.6
2026年3月期第1四半期	27,133	41.0	3,542	—	3,425	—	2,709	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 5,056百万円(122.6%) 2026年3月期第1四半期 2,271百万円(55.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	47.61	—
2026年3月期第1四半期	34.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	158,446	90,252	55.8
2026年3月期	154,962	87,093	54.9

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 88,386百万円 2026年3月期 85,077百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	12.00	—	24.00	36.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	14.00	—	24.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	48,800	2.3	4,900	4.5	5,200	11.5	3,800	12.7	48.52
通期	116,000	3.7	11,500	5.7	11,000	4.5	7,400	2.4	94.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	81,967,082株	2026年3月期	81,967,082株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	3,641,614株	2026年3月期	3,641,498株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	78,325,531株	2026年3月期1Q	78,256,737株

期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しています。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では景気の緩やかな拡大が続き、欧州においてもユーロ圏を中心に景気の持ち直しが見られ、英国でも緩やかながら景気が回復しました。一方、中国では不動産市場の停滞等を背景に景気は緩やかな減速基調で推移しました。わが国では、雇用・所得環境の改善を背景に景気は回復基調を維持しましたが、中東情勢の緊迫化に伴う原材料価格やエネルギー価格の動向、為替相場の変動など、外部環境の不確実性については引き続き留意が必要な状況となりました。

このような状況下、当社グループは中期経営計画「Growing Global for Sustainability (GGS)」に取り組み、事業戦略の深化、環境経営の高度化及び人的資本経営の推進を行い、社会全体と当社グループの持続可能性の両立を目指しました。

当第1四半期連結累計期間における主な取り組みとしては、「レイミーのAI病害虫雑草診断」アプリと株式会社NTTデータCCSが提供する水稻AI画像診断ソリューション「Growth eye Board」との連携を開始しました。これにより、病害虫・雑草の診断結果や農業関連データの一元的な可視化・活用を可能とし、生産者の営農支援の高度化と持続可能な農業の実現に向けた取り組みを推進しました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、中核事業である農薬事業で、国内、欧米を中心に各地域での販売が増加したことなどにより、310億87百万円（前年同期比39億54百万円増、同14.6%増）となりました。利益面では、増収効果に加え、収益性の改善が寄与した結果、営業利益は47億51百万円（前年同期比12億9百万円増、同34.1%増）、経常利益は52億29百万円（前年同期比18億4百万円増、同52.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は37億29百万円（前年同期比10億19百万円増、同37.6%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は以下のとおりです。

[農薬事業]

国内農薬販売では、水稻向け除草剤をはじめとした主力品目の販売が好調に推移しました。加えて、コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社の製品の拡販や前連結会計年度より販売開始したBASFジャパン株式会社の果樹分野向け製品の寄与により、国内販売全体の売上高は前年同期を上回りました。

海外農薬販売では、北米において、ナッツ類や果樹向けを中心に殺虫剤ブプロフェジンおよび殺虫剤フェンピロキシメートの販売が好調に推移しました。また、多雨に伴う需要増加を背景に除草剤ピラフルフェンエチルの販売が高水準を維持したほか、同業者向け販売も堅調に推移したことから、Nichino America, Incの売上高は前年同期比で大幅に増加しました。中南米では、ブラジルにおいて多雨の影響により除草剤、殺菌剤が堅調に推移したものの、農産物価格下落に伴う高価格帯製品の販売低迷により、Sipcam Nichino Brasil S.A.の売上高は前年同期比で減少しました。欧州では、東欧におけるバレイショ用途を中心に除草剤ピラフルフェンエチルの販売が好調に推移し、売上高は前年同期比で増加しました。アジアでは、インドにおいて、流通在庫の適正化やモンスーンの到来遅延の影響により、売上高は前年同期比で減少しました。これらにより、海外販売全体の売上高は前年同期を上回りました。

これらの結果、農薬事業の売上高は291億81百万円（前年同期比37億95百万円増、同15.0%増）、営業利益は46億53百万円（前年同期比13億12百万円増、同39.3%増）となりました。

[農薬以外の化学品事業]

化学品事業では、シロアリ薬剤分野の販売が堅調に推移しました。医薬品事業では、薬価改定の影響により販売は減少しました。

これらの結果、農薬以外の化学品事業の売上高は13億51百万円（前年同期比1億18百万円増、同9.6%増）、営業利益は2億45百万円（前年同期比64百万円減、同20.8%減）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ34億83百万円増加し、1,584億46百万円となりました。これは、時価上昇による投資有価証券の増加が主な要因です。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ3億23百万円増加し、681億93百万円となりました。これは、仕入債務の減少を上回る短期借入金及び未払法人税等、流動負債その他（主に未払費用）の増加が主な要因です。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ31億59百万円増加し、902億52百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加及びその他有価証券評価差額金等のその他の包括利益累計額の増加が主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月13日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,253	24,407
受取手形、売掛金及び契約資産	47,049	40,803
電子記録債権	4,620	6,904
商品及び製品	28,628	29,777
仕掛品	888	881
原材料及び貯蔵品	11,400	11,062
その他	5,929	5,623
貸倒引当金	△921	△948
流動資産合計	117,848	118,510
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,902	3,842
機械装置及び運搬具（純額）	5,353	5,250
土地	5,452	5,469
その他（純額）	2,377	2,493
有形固定資産合計	17,085	17,055
無形固定資産		
のれん	757	744
ソフトウェア	1,751	1,718
技術資産	754	741
その他	580	534
無形固定資産合計	3,844	3,738
投資その他の資産		
投資有価証券	11,321	13,334
その他	5,090	6,047
貸倒引当金	△227	△240
投資その他の資産合計	16,184	19,141
固定資産合計	37,114	39,935
資産合計	154,962	158,446

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,113	15,700
電子記録債務	154	259
短期借入金	10,207	11,982
未払法人税等	1,031	2,071
賞与引当金	1,193	410
環境対策引当金	309	618
その他の引当金	105	—
営業外電子記録債務	92	194
その他	11,466	13,451
流動負債合計	44,673	44,688
固定負債		
社債	5,924	6,382
長期借入金	12,285	11,935
退職給付に係る負債	939	934
環境対策引当金	618	309
その他の引当金	250	230
その他	3,177	3,712
固定負債合計	23,195	23,504
負債合計	67,869	68,193
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,939	14,939
資本剰余金	15,071	15,071
利益剰余金	51,892	53,731
自己株式	△1,986	△1,987
株主資本合計	79,916	81,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,997	3,021
繰延ヘッジ損益	—	△54
為替換算調整勘定	2,726	3,255
退職給付に係る調整累計額	436	408
その他の包括利益累計額合計	5,160	6,631
非支配株主持分	2,015	1,866
純資産合計	87,093	90,252
負債純資産合計	154,962	158,446

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	27,133	31,087
売上原価	17,611	19,782
売上総利益	9,521	11,305
販売費及び一般管理費	5,978	6,553
営業利益	3,542	4,751
営業外収益		
受取利息	476	602
受取配当金	72	88
不動産賃貸料	26	27
為替差益	470	675
持分法による投資利益	275	514
その他	112	149
営業外収益合計	1,434	2,057
営業外費用		
支払利息	653	720
デリバティブ評価損	867	813
その他	30	46
営業外費用合計	1,551	1,580
経常利益	3,425	5,229
特別利益		
固定資産売却益	—	7
特別利益合計	—	7
特別損失		
固定資産処分損	4	5
特別損失合計	4	5
税金等調整前四半期純利益	3,420	5,232
法人税等	813	1,673
四半期純利益	2,607	3,558
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△102	△170
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,709	3,729

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	2,607	3,558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44	1,020
繰延ヘッジ損益	△58	△108
為替換算調整勘定	△117	619
退職給付に係る調整額	△23	△28
持分法適用会社に対する持分相当額	△90	△5
その他の包括利益合計	△335	1,497
四半期包括利益	2,271	5,056
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,345	5,199
非支配株主に係る四半期包括利益	△74	△142

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	25,386	1,232	26,618	514	27,133	—	27,133
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	—	6	179	185	△185	—
計	25,392	1,232	26,624	694	27,319	△185	27,133
セグメント利益	3,340	309	3,649	110	3,760	△217	3,542

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△217百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△217百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	29,181	1,351	30,533	554	31,087	—	31,087
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	—	3	164	167	△167	—
計	29,185	1,351	30,536	719	31,255	△167	31,087
セグメント利益	4,653	245	4,898	65	4,963	△211	4,751

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△211百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△211百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産にかかる償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	572百万円	658百万円
のれんの償却額	24 "	27 "